

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	大平 英樹	所属	名古屋大学大学院情報学研究科
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 90 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 6 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>【共同研究企画】</p> <p>①目的 本企画は、研究会を共同研究提案の場として活用することを目的とした新しい取り組みである。検体収集や生化学的測定の手配、データセットの共有をすることで研究会活動および国内における精神神経内分泌免疫学研究の活性化を図る。</p> <p>②成果 現在 2 件の共同研究が進行中である。研究集会でのアナウンスに加え、研究会ホームページにも募集・成果などを逐次掲載し、隣接領域の研究者に向けた情報発信に努めた。</p> <p>③将来構想 新しい企画であるためまだ研究数が少ないのが現状である。今後も引き続き研究集会やホームページ等で共同研究者を募り、ワーキンググループでの活動を行っていく。</p> <p>【シンポジウム・研究集会】</p> <p>①目的 精神神経内分泌免疫学 (PNEI) に関する最新の知見の共有、研究者間の交流を目的とし、共同研究の促進を図る。また、若手研究者に積極的に研究発表の機会を与えることで若手研究者の育成に努める。</p> <p>②成果 <u>日本心理学会大会公募シンポジウム</u> 日心第 81 回大会においてシンポジウムを行った。本シンポジウムでは他領域で用いられる新しい方法論等を取り入れた研究を推進している 3 名の先生方から話題提供がなされ、PNEI 研究の役割と今後の発展について議論が行われた。 <u>ストレス学会シンポジウム</u> ストレス学会第 33 回大会において「ストレス分野における PNEI 指標を利用した挑戦的研究」と題し、シンポジウムを行った。3 名のシンポジストから多様なアプローチによるストレス研究をご紹介いただき、PNEI 指標の有用性について議論が行われた。 <u>第 24 回研究集会</u> 佐賀大学医学部の島ノ江先生を講師にお招きし、PNEI 研究でも活用可能な疫学研究のデザインや考慮すべきポイントなどに関するレクチャーを開催した。さらに、3 題の研究発表が行われ、最新の知見についての情報交換が行われた。</p> <p>③将来計画 今後は第 25 回研究集会および日本心理学会でのシンポジウムを予定している。さらなる情報、研究手法・技術の共有化、研究者間の連携を強めることを目指す。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会				
研究集会開催日： 平成29年 11月 18日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	井澤修平	労働安全衛生総合研究所	○	
2	廣川空美	梅花女子大学	○	
3	前田駿太	早稲田大学	○	
4	塩田翔一	京都大学		
5	余語真夫	同志社大学	○	○
6	木村健太	産業総合研究所	○	
7	小崎智照	福岡女子大学		
8	島ノ江千里	佐賀大学		
9	野村理朗	京都大学	○	
10	山田クリス孝介	慶應義塾大学	○	
11	大平英樹	名古屋大学	○	
12	春原吉美	ブレイン・ビューティ株式会社		
13	松永昌宏	愛知医科大学	○	
14	崔多美	浜松医科大学		
15	手塚洋介	大阪体育大学	○	
16	加藤美幸	広島大学		
17	中田光紀	産業医科大学	○	
18	山川香織	東海学園大学	○	
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2018年 3月 12日

日本心理学会研究会 2017年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会精神神経内分泌免疫学研究会

研究会番号 研17007

助成金額 30,000円

年月日	項目	金額
2018年11月18日	第24回研究集会 島ノ江 千里先生 謝礼	¥30,000

支出合計 ¥30,000